

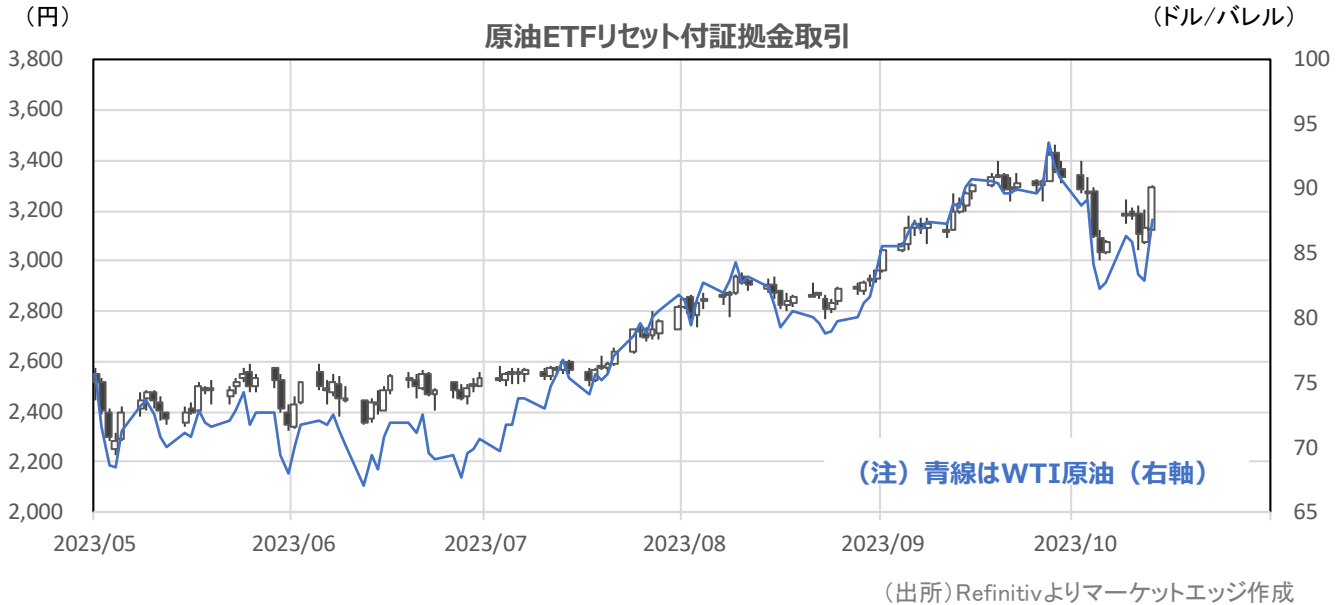
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/10/16号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



需要不安と地政学リスクで売買交錯

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台で売買が交錯したが、週末に向けて87ドル台後半まで値上がりし、10月4日以来の高値を更新した。米長期金利の急伸傾向は一服したが、需要環境に対する不信感が残され、売買が交錯する不安定な地合になった。10月6日の81.50ドルで底入れしているが、製油所のメンテナンスシーズン入りで米原油在庫が急増したこともあり、明確な方向性を打ち出せなかった。しかし、10月13日の取引では改めて中東の地政学リスクを織り込む動きが優勢になった。

10月7日にパレスチナのイスラム組織ハマスがイスラエルに対して攻撃を行ってから1週間が経過した。イスラエルは8日に報復攻撃を開始し、その後は激しい戦闘が繰り広げられている。15日時点では原油供給に対する直接的な影響は確認されていないが、イスラエルが13日にガザ地区の住民に対して避難勧告を行ったことで、近く本格的な地上戦が開始され、中東情勢が一段と不安定化するリスクへの警戒感が織り込まれている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月12日時点）は、原油が前週比1,018万バレル増、ガソリンが131万バレル減、石油精製品が184万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫と中東情勢で底固い展開に、イランの動向に要注意

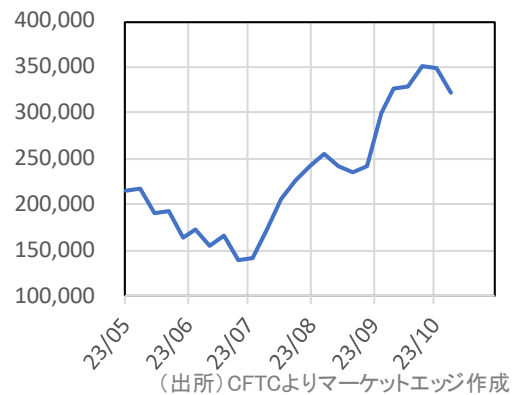
80ドル台で乱高下繰り返されているが、徐々に値固めから上昇再開を打診しよう。北半球では製油所のメンテナンスシーズンに入っており、目先は米原油在庫の積み増しが促されやすい。しかし、世界的な低在庫環境、在庫減少見通しに修正を迫るには至らない見通しであり、マクロ需給要因から押し目買い優勢の地合が続こう。WTI原油先物の受渡場所であるオクラホマ州クッシング地区の原油在庫は減少が続いていることはポジティブ。受渡需給のひっ迫が警戒され、期近限月主導の上昇地合が支持されている。

10月12日に国際エネルギー機関（IEA）と石油輸出国機構（OPEC）の月報が公表されたが、2023年の世界石油需要見通しはIEAが小幅引き上げ、OPECが据え置きになった。北米などの需要環境の悪化が報告されているが、中国の堅調な需要環境によって相殺されている。中国主導の需要拡大見通しは維持されている。

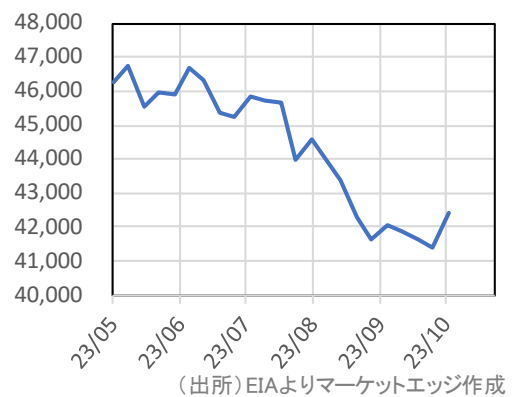
中東情勢は依然として流動的であり、イスラエルとハマスの戦闘が続いているが、焦点はイランやサウジアラビアといった主要産油国も紛争に巻き込まれるかになる。イスラエルはガザ地区でハマスの掃討作戦を展開する見通しであり、その際にイランなど他のアラブ諸国が Hamas 支持の動きを強めると、原油相場も吹き上げる可能性がある。ただし、現時点では供給障害は発生していない。

10月入りしてからは米長期金利の急伸が原油相場を圧迫していたが、米金融当局者が市場金利上昇で追加利上げの必要性が低下しているとの認識を示している。米長期金利の急伸再開で原油相場が値を崩すリスクは後退している。

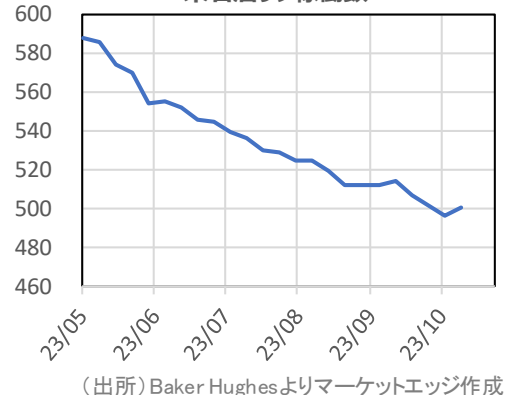
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

